

課題番号	LS022
------	-------

**先端研究助成基金助成金(最先端・次世代研究開発支援プログラム)  
実施状況報告書(平成 22 年度)**

本様式の内容は一般に公表されます

研究課題名	日本の高年初産婦に特化した子育て支援ガイドラインの開発
研究機関・ 部局・職名	千葉大学・大学院看護学研究科・教授
氏名	森 恵美

1. 当該年度の研究目的

本研究の最終目的は、高年初産婦(35歳以上の初産婦)に特化した産後1ヶ月までの子育て支援ガイドラインの開発である。そのため、【研究1】【研究2】【研究3】3つの研究を推進する。  
【研究1】は、産後4ヶ月間における産後の生活活動と身体的心理社会的健康状態に関する縦断研究であり、その目的は高年初産婦の産後4ヶ月間における産後の生活活動と身体的心理的健康状態、母親役割獲得過程との関係を検討して、高年初産婦の子育て支援ニーズについて考察する。  
平成22年度の目的は、【研究1】の研究データ収集が、平成23年度早期にできるように研究準備を行うことである。

2. 研究の実施状況

【研究1】産後4ヶ月間における産後の生活活動と身体的心理社会的健康状態に関する縦断研究のための研究準備を以下のように行った。

1. 産後疲労に関する文献収集と検討  
疲労(Fatigue)、産褥(Postpartum)で文献検索を行い、日本語、英語文献を収集して、産後疲労についての質問紙と生化学的指標等の検討を行った。その結果、疲労の調査用紙として中央労働災害防止協会の「疲労蓄積度自己診断チェックリスト」を使用することを決定し、産後疲労には睡眠が影響していることが推測された。

2. 米国AMI社製のアクティグラフによる測定方法・時期等の検討  
アメリカAMI社製アクティグラフ(腕時計型メモリー内蔵加速度計)を用いて生活行動を測定することにし購入した。これは、体動のレベルと頻度に対応した信号を発生した加速度値を活動値として測定記録し、その活動値をソフトウェアで解析すると睡眠・覚醒リズムを表示でき、客観的な睡眠覚醒リズムを十分な精度で判定でき、広く睡眠研究および疲労の研究に用いられているからである。腕時計型であるが、試行した結果、手首では授乳や抱くときにじゃまになることがわかり、足に装着したりして測定の時期や対象者への負担を検討した。

3. 研究計画の詳細な検討  
産後疲労だけでなく、マタニティブルー、産褥うつ病、母親役割獲得に関する文献を収集し、収集できた文献を用いて、研究方法の詳細な検討を行った。使用する予定の質問紙である、日本版エジンバラ産後うつ病自己評価票(EPDS)、日本版Parenting Stress Index(PSI)についても検討を行った。PSIは項目数が多いので、研究対象者の負担を考え、PSIの短縮版で信頼性と妥当性が検討されている育児ストレスシヨートフォームを使用することに決定した。

様式19 別紙1

3. 研究発表等

雑誌論文 計〇件	(掲載済み一査読有り) 計〇件  (掲載済み一査読無し) 計〇件  (未掲載) 計〇件
会議発表 計〇件	専門家向け 計〇件  一般向け 計〇件
図書 計〇件	
産業財産権 出願・取得状 況 計〇件	(取得済み) 計〇件  (出願中) 計〇件
Webページ (URL)	
国民との科 学・技術対話 の実施状況	
新聞・一般雑 誌等掲載 計〇件	
その他	

4. その他特記事項

## 実施状況報告書(平成22年度) 助成金の執行状況

本様式の内容は一般に公表されます

## 1. 助成金の受領状況(累計)

(単位:円)

	①交付決定額	②既受領額 (前年度迄の 累計)	③当該年度受 領額	④(=①-②- ③)未受領額
直接経費	80,000,000	0	34,989,000	45,011,000
間接経費	24,000,000	0	10,496,700	13,503,300
合計	104,000,000	0	45,485,700	58,514,300

## 2. 当該年度の収支状況

(単位:円)

	①前年度未執 行額	②当該年度受 領額	③当該年度受 取利息等額 (未収利息を 除く)	④(=①+②+ ③)当該年度 合計収入	⑤当該年度 執行額	⑥(=④-⑤) 当該年度未執 行額
直接経費	0	34,989,000	0	34,989,000	2,150,710	32,838,290
間接経費		10,496,700	0	10,496,700	718,200	9,778,500
合計	0	45,485,700	0	45,485,700	2,868,910	42,616,790

## 3. 当該年度の執行額内訳

(単位:円)

	金額	備考
物品費	2,150,710	アクティグラフ, パソコン等
旅費	0	
謝金・人件費等	0	
その他	0	
直接経費計	2,150,710	
間接経費計	718,200	
合計	2,868,910	

## 4. 当該年度の主な購入物品(1品又は1組若しくは1式の価格が50万円以上のもの)

物品名	仕様・型・性能 等	数量	単価 (単位:円)	金額 (単位:円)	納入 年月日	設置研究機関 名
マイクロスリーブ時 計型アクティグラフ 標準セット		1	1,937,250	1,937,250	2011/3/22	千葉大学
				0		
				0		